

Q. 自分の英語力に自信がなく，授業を進める際に戸惑ったり，子どもたちにうまく内容を伝えられません。どうしたらよいのでしょうか？

A 「外国語活動の目的は何か」という原点に立って，発想を転換し，児童と一緒に学びましょう。

小学校での外国語活動の目的は，英語によるコミュニケーションの素地をつくることにあります。大切なのは英語に慣れ親しむことであり，英語嫌いをつukらないことです。「英語は難しい，苦手だ」とか，「英語の専門家だから英語が話せる」という決めつけはやめて，「児童とのコミュニケーションを英語というツールで行う」と考えましょう。

(留意点)

1 「自分が分からないことは児童もわからない」

先生が分からないことは児童もわからないはずでず。子どもたちの視点に立って，「ここでつまづかないようにしてあげよう」と，自身の状況を指導に役立てましょう。

先生が全てお手本を示さなければいけないということはありません。児童と一緒に先生も一緒になって英語でコミュニケーションを練習すればいいのです。

2 学級担任とALTの役割

児童とのコミュニケーションの主体は学級担任です。担任の先生が身振り手振りを交えて一生懸命にALTとコミュニケーションを図る姿が，子どもたちにとって一番のプラスです。「人と人とが仲良くなるために，どのような姿勢が大事なのか」を直接見せることが，「コミュニケーションモデル」としての役割を果たします。

3 自信を持って指導に当たるために

授業の前に，頭の中で簡単なシュミレーションを行いましょ。う。どんなフレーズを指示するのかなど，発問計画を作り，子どもたちがどんな反応をするだろうかなど，イメージしてみるのもよいでしょう。

ALTを交えての授業の場合には，事前に打ち合わせをしておくと，自信を持って授業に臨めます。授業中困った時には，絵やジェスチャーを使うとよいです。